

「医療現場に届けロータリーの心」

このたびの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々や感染拡大により生活に影響を受けている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い感染の終息をお祈り致します。

船橋東ロータリークラブでは、COVID-19の感染拡大で日本国内においてマスク等の入手困難な状況が続いていることから2020年5月19日 船橋市(船橋市立医療センター)と船橋市老人福祉施設協議会(市内各特別養護老人ホーム内の医務室)へ15,000枚の不織布マスクとアルコール消毒液5リットル×10本を寄贈致しました。

現在、医療現場では医療関係者を感染から守るマスク等の不足が深刻化し、医療関係者の感染リスクの増加や院内感染につながる恐れがあることから、その確保が喫緊の課題となっていると船橋市立医療センターよりお伺いしました。また、船橋市危機管理課では確保していた緊急時用のマスクは、市内の各現場に配布し残り20,000枚足らずの状況でした。

しかし、マスク等の入手困難な状況はここ船橋市内でも変わらず、物品の確保に大変苦戦しました。5月19日までにすべての物品が揃い、都合のつく会員で手分けをして対象先へ不織布マスクや消毒液を配布し、また、同日船橋市老人福祉施設協議会と、松戸 徹 船橋市長へ目録とマスクと消毒液を寄贈してきました。船橋市は基より配布先の施設から多数の温かい感謝のお言葉を頂きました。

今回の事業では情報収集に始まり、立案、検討、決定、実行まで1人ではなかなか難しい事もクラブ会員の力を結集することにより、よりスピーディーに支援する事ができました。この場をお借りして会員の皆様とこの事業に携わって頂きました皆様に感謝申し上げます。

今回の支援が医療や介護の最前線で奮闘されている医療関係者の皆様に、感染予防の一助となる事を切に願っています。



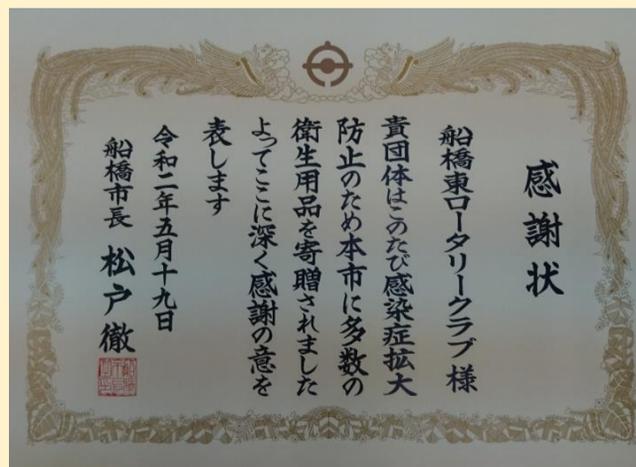
船橋市老人福祉施設協議会へ寄贈



山口会長より松戸徹市長へ目録贈呈



船橋市 松戸徹市長を囲んで



当クラブへ感謝状をいただきました